

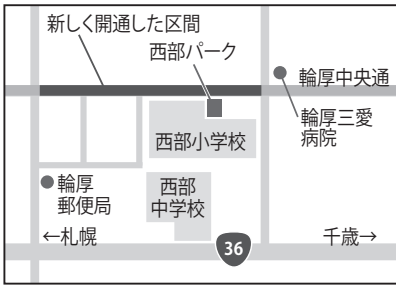


地域の交流を広げる

西部パークの完成と 輪厚中央通の全線開通

昨年10月、西部小学校の東側に新しい公園が完成しました。名前は「西部パーク」で、西部小学校の児童が考えました。色鮮やかなブランコや回転遊具、ベンチなどが配置されています。西部小学校の駐車場から直接歩いて行けるので、図書館西部小分室の利用者も行き帰りに立ち寄ることができます。

公園の完成と同時に、隣接する輪厚中央通も全線開通しました。これにより国道36号まで遠回りすることなく、輪厚地区と希望ヶ丘地区を行き来できるようになりました。



も災害備
子どもと
遊ぶ(上)を
遊具(上)と
で(上)の時
遊具(下)を
遊具(下)を
遊具(下)を
遊具(下)を



西部パークと輪厚中央通は、災害時の指定避難所である西部小学校への物資輸送路としても役立ちます。公園内にある遊歩道は、車止めを外すと小学校への通路になり、輪厚中央通から小学校へ緊急物資が搬入しやすくなります。あずまやは、ベンチに収納されているシートを屋根に取り付けるとテントとして使えます。西部地区連合町内会長の中野光興さんは「公園は地域の皆さんの憩いの場になっています。輪厚中央通の全線開通で、地域の交流がこれまで以上に広がるでしょう。交通の便が良くなり交通量も増えましたが、事故のないよう、車で通る方は安全運転をしていただきたいです」と話します。



輪厚中央通



まめ記者

里っ子の「三つのあ」



西の里小学校6年
江島梓希さん
(児童会長)

西の里小学校は自然と森に囲まれた場所であり、たくさん生き物に出会うことができる学校です。

西の里小学校の児童(里っ子)は「三つのあ」というきまりを守って生活しています。「三つのあ」とは「あいさつ」「安全」「あとしまつ」の「あ」から始まる三つのきまりのことです。他にも、西の里小学校では学校生活で「あいさつ」に力を入れて生活しています。

「三つのあ」の他に「あいさつ五ヶ条」というあいさつをする時のきまりがあります。あいさつ五ヶ条は「①元気よく ②自分から進んで ③相手の目を見て ④笑顔で ⑤たくさんの人に」の五つのきまりです。

このきまりを守って、朝のあいさつ運動では、しっかりとあいさつをして生活しています。



あいさつ運動